



トッパングループの Japan Color認証取得への取組について

2010年7月23日

凸版印刷株式会社

モノづくりセンター生産技術部 竹村法孝

トッパングループ、全国11工場で「JapanColor標準印刷認証」を取得

凸版印刷株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金子眞吾）と図書印刷株式会社（本社：東京都北区、代表取締役社長：沖津仁彦）は、全国に展開する11工場で「JapanColor標準印刷認証」を取得しました。

トッパングループでは、以前より全国の印刷工場で、撮影から印刷までの全工程における標準化に取り組んできました。特に印刷のデジタルワークフローに合わせ、自社基準を制定し、標準化の取り組みを強化しており、その成果が今回、図書印刷の城北工場（東京都北区）を含む、全国11工場での「JapanColor標準印刷認証」取得へと繋がりました。

トッパングループでは、安定した高い品質の印刷物を全国で生産することが可能であることを活かし、お客さまのニーズに合わせた最適な拠点で、より効率的な生産を実現します。

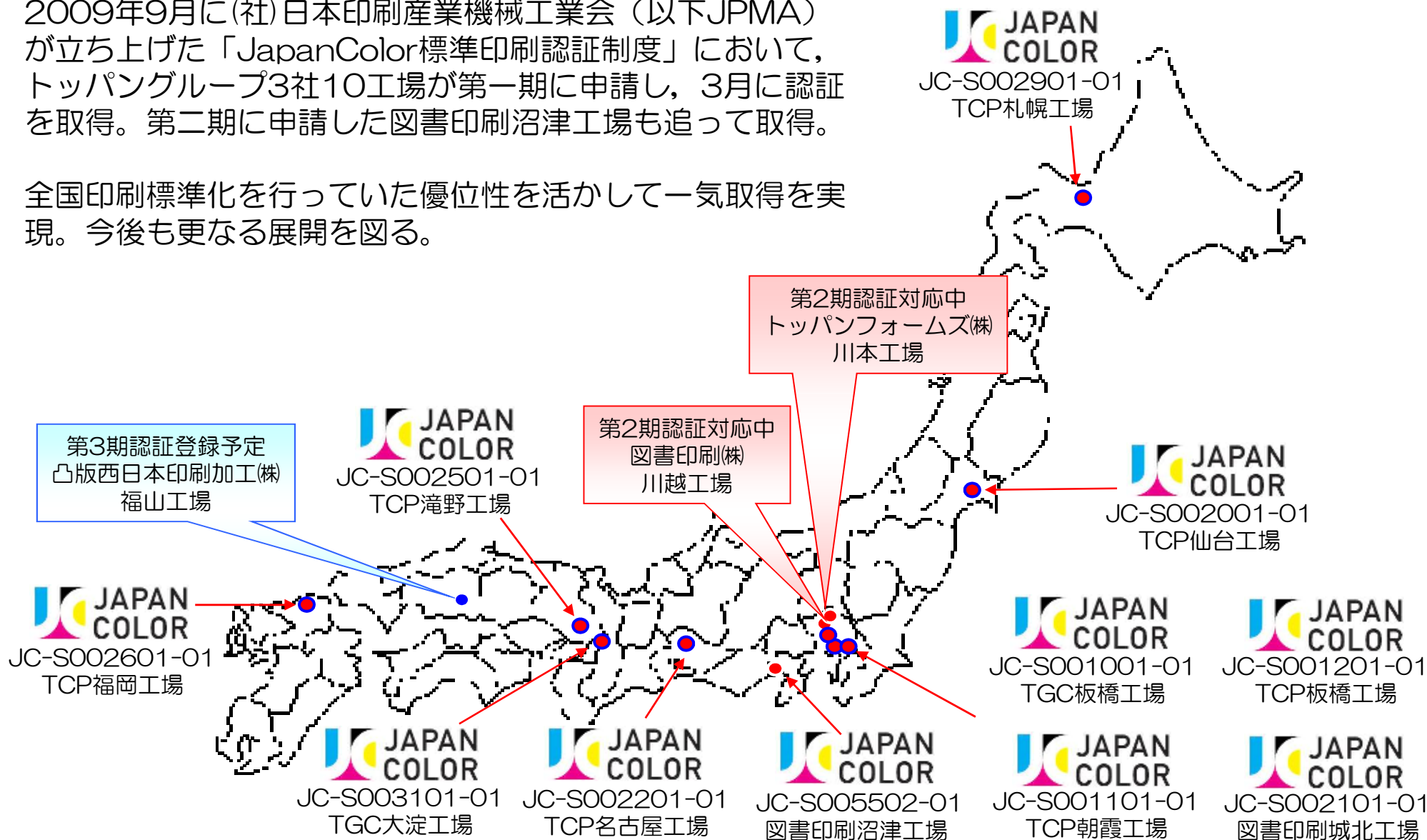
今後は、他の印刷工場での「JapanColor標準印刷認証」取得の拡大を図り、グループ全体の品質向上を目指します。さらに、認証の範囲外である輪転印刷などでも、独自認定制度の適用による標準化レベルの評価を進め、自社製品に対する品質保証の更なる強化を図ります。

【「JapanColor標準印刷認証」取得 工場】

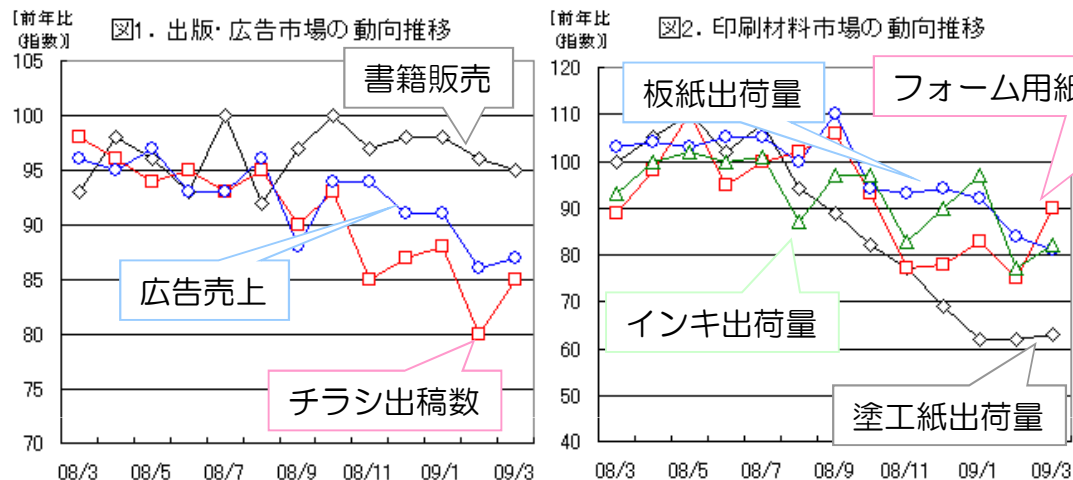
- ・株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ 板橋工場 （所在地：東京都板橋区）
- ・株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ 大淀工場 （所在地：大阪府大阪市）
- ・株式会社トッパンコミュニケーションズ プロダクツ 朝霞工場 （所在地：埼玉県新座市）
- ・株式会社トッパンコミュニケーションズ プロダクツ 板橋工場 （所在地：東京都板橋区）
- ・株式会社トッパンコミュニケーションズ プロダクツ 札幌工場 （所在地：北海道札幌市）
- ・株式会社トッパンコミュニケーションズ プロダクツ 仙台工場 （所在地：宮城県仙台市）
- ・株式会社トッパンコミュニケーションズ プロダクツ 滝野工場 （所在地：兵庫県加東市）
- ・株式会社トッパンコミュニケーションズ プロダクツ 名古屋工場 （所在地：愛知県名古屋市）
- ・株式会社トッパンコミュニケーションズ プロダクツ 福岡工場 （所在地：福岡県古賀市）
- ・図書印刷株式会社 城北工場 （所在地：東京都北区）
- ・図書印刷株式会社 沼津工場 （所在地：静岡県沼津市）

2009年9月に(社)日本印刷産業機械工業会(以下JPMA)が立ち上げた「JapanColor標準印刷認証制度」において、トッパングループ3社10工場が第一期に申請し、3月に認証を取得。第二期に申請した図書印刷沼津工場も追って取得。

全国印刷標準化を行っていた優位性を活かして一気に取得を実現。今後も更なる展開を図る。



国内の市場が低迷する中、海外市場も視野に入れたグローバルな展開を進めるためには、海外の認証制度と並ぶ権威ある国内の認証制度が不可欠である。



JAGATE印刷業界動向統計より引用



PSO認証

※PSO認証：FOGRA(ドイツ)による印刷の国際規格『ISO12647-2』の認証。2005年よりヨーロッパを中心にスタートし、世界240社が認証取得。日本でも2008年に開始されたが11社の認証取得に留まる。

日本の印刷規格であるJapanColorを基準として、印刷会社の工程管理能力を審査する制度は国内初であり、広告代理店や出版社など多くのクライアントが注目する制度である。

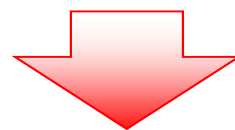


国内の印刷業界を牽引する為に、全社認証取得に取り組む必要がある。

長年培った印刷技術の研究成果により、製版・印刷の標準化を進め、全社的に展開し、適地生産を実現している。

【標準化による効果】

- | | |
|--------------|--------------|
| ①モノづくりの全体最適化 | ②製品品質の安定化と向上 |
| ③現場力の向上と見える化 | ④生産効率UP |
| ⑤製造原価低減 | ⑥集中購買体制の確立 |
| ⑦間接費削減 | ⑧購入コスト削減 |
| ⑨工程間の壁緩和 | ⑩責任の明確化 |
| ⑪問題点の共有化 | ⑫課題の早期解決 |



標準化は、継続と維持管理が重要な鍵であり、技術の積み上げによりスパイラルアップを図らなければならない。

①凸版の優位性(全国レベルでの品質保証体制)を社内外にアピール

JapanColorは日本の印刷材料とマーケットにあった印刷基準である。

すでに印刷標準化に取り組んできた高いプロセスコントロール技術や、自社の製品品質の高さを公的に証明し、顧客のCS向上と受注確保につなげる。

～公的認証による顧客のCS向上と印刷品質の見える化を実現～

②社内の標準化とTPM活動の活性化により、更なる印刷品質の安定化を図る

JapanColor認証取得により、自社の標準化レベルが客観的に評価されることで、標準化活動とTPM活動の活性化に繋げる。それにより、高品質の製品を無駄な費用をかけずに生産できる環境を構築する。

～顧客の要求する高品質の製品を短時間で無駄な費用をかけない低コスト生産の実現～

③日本の印刷業界における標準化活動の活性化

JapanColor認証取得会社が増えることにより、日本の印刷業界における標準化活動が活性化し、品質とコスト面で魅力のあるメディアとしての印刷の地位を堅固にする。

～魅力のあるメディアとしての印刷の地位を堅固にする～

2009/10/7 JapanColor認証公式説明会

◇JGAS2009にて認証制度公式説明会開催

- ①役員・工場幹部へ認証制度の説明
- ②各工場関係者へ、認証取得の目的と制度の説明
- ③各工場責任者と担当者決定 ⇒モデル機の選定
- ④基準分光測色計の精度確認
- ⑤ベタ規格値の最適濃度と許容検証
- ⑥連続印刷の濃度安定条件検証
- ⑦連続印刷のドットゲイン拳動検証
- ⑧『審査合格に向けたガイドライン』作成
- ⑨各工場関係者へマイルストーン落とし込み



2009/10/22~11/4 第一期認証審査登録

◇第一期の申請は4日17時締め切り。

- ①各工場モデル機の状態把握と整備 ⇒品質評価の一元管理
- ②事前検証テスト印刷による安定性確認実施

2009/11/9~2010/2/10 事前審査・本審査

◇3/1第一期合格発表は、2/15迄に審査合格

1. JapanColor標準印刷認証の更新条件構築

- ①機械状態を把握を行う仕組みの構築に向けたフォロー（更新審査免除を含む）
- ②3ヵ月毎の印刷物の状態確認と結果のフィードバック

2. 未取得工場の認証取得フォロー

- ①第二期認証登録工場・・・トッパンフォームズ（川本工場），図書印刷（川越工場・沼津工場）
- ②第三期登録予定工場・・・凸版西日本印刷加工 福山工場
- ③主要な協力工場のコンサルタント

3. 社内統一評価システム（社内認定制度）

- ・・・認証モデル機以外の印刷機と認証範囲外の輪転印刷機の状態を把握する仕組み構築
また、協力工場の評価と是正指導にも活用。

4. プルーフ運用認証とマッチング認証の取得準備

- ・・・JapanColor認証事務局にて制度立ち上がり次第，申し込み予定。



ご清聴頂き、誠に有難う御座います